

令和 4 年 2 月 10 日時点

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	① 青少年育成市民会議：地域と行政が協働して意見発表会などを通じて青少年の健全育成を行う。市は育成市民会議に補助金を交付する。 ② 青少年問題協議会：青少年の指導等に関する総合政策について調査審議する。市は事務局事務を行う。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
家庭と地域・学校等各団体間の協力体制並びに組織体制づくりによる密接な連携のもと、体験学習や実践活動を通じて地域との関わりや世代間交流を促進し、社会性や豊かな人間性を持つ青少年を地域全体で育成していく。	青少年を取り巻く社会環境は、親子のふれあい不足、地域での人間関係の希薄化や地域活動への関心の薄れ、子どもたちの異年齢間での遊びの減少などが指摘されている。一方、従来の万引、喫煙、深夜はいかいなどに加え、パソコンや携帯電話によるインターネットの利用から発生する問題は、ますます多様化、低年齢化の傾向にある。	学校、家庭、地域社会、関係機関が一体となった青少年の健全育成活動の取り組みの充実が求められている。

		単位	29年度 (決算)	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (予算)	
事業費	費目内訳	1. 負担金及び交付金	千円	180	180	180	94	180
		2. 需用費	千円	53	53	53	6	52
		3. 委託料	千円	21	27	23	23	35
		4. 使用料及び賃借料	千円	82	88	89	63	88
		5. 報酬	千円					
	事業費計 (A)		千円	336	348	345	186	355
	財源	1. 国庫支出金	千円					
		2. 都道府県支出金	千円					
		3. 地方債	千円					
		4. その他	千円					
5. 一般財源		千円	336	348	345	186	355	

従事職員数	常時	2	人	最大	4	人	×	2	日	=	延べ	8	人
-------	----	---	---	----	---	---	---	---	---	---	----	---	---

① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)						
手段	2年度実績(2年度に行った主な活動) 《青少年育成市民会議》 会議、青少年意見発表大会		ア	《市民会議》 意見発表大会の発表人数							人	13	14	14	13	15
			イ	《問題協議会》 会議の回数							回	1	1	1	0	1
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		⇒	④ 成果指標名		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)						
目的	対象 《市民会議》6歳から24歳までの青少年	ア	《市民会議》 青少年意見発表大会の来場人数	人							300	240	141	68	100	
	意図 《市民会議》社会性や豊かな人間性を持つ青少年を地域全体で育成していく。															
	対象 《問題協議会》6歳から24歳までの青少年の指導・育成者 《問題協議会》青少年に関する総合的施策について意見交換と連絡調整を図る。	イ	《問題協議会》 会議及び講演会等の参加人数	人	46	37	40	0	50							

①成果優先度評価結果			成果向上余地		
			かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			②	
	普通				
	小さい				

②コスト削減優先度評価結果			コスト比率		
			下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度 評価結果	①				
	②				
	③	(2)			
	④⑤				
	⑥				
	⑦⑧				
	⑨				

日付	ア (人数)	イ (人数)
H29	300	310
H30	250	250
R1	140	270
R2	70	0
R3 計画	100	340

	① 進捗状況 【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)										☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難					
評価内容	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	比較 成果動向	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度		
			成果指標イ	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下		29年度	30年度	1年度	2年度	3計画		
	【コメント】 (低下の場合、その理由)		青少年意見発表大会については、新型コロナウイルス感染対策のため、来場者を関係者に限定し実施したため。 青少年問題協議会については、新型コロナウイルスの関係から未実施となったため。							ア	0	△60	△99	△73	32	
									イ	△8	△9	3	△40	50		
	③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容				今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☒ 見直し ☐ その他()					
	R3.11		令和3年度の青少年意見発表大会では、リハーサル時間に余裕を持たせるため、当日午前中に準備及びリハーサルを行う予定。				令和3年4月～	青少年問題協議会の開催方法について見直す。								